



ご協力いただきました皆さま、一年間ありがとうございました！



2013年7月28日「親子の日 2013 スーパーフォとセッション」終了後の記念写真

一年間サポートをしてくださったみなさま、本当にありがとうございました。

◆新井美保 ◆石井正人 ◆石原繁 ◆磯貝日月 ◆井上佳子 ◆猪股敏郎 ◆上田壮一 ◆内田千絵 ◆江口カエ ◆エスケン ◆大関和彦
◆大高健志 ◆岡安香織 ◆ブルース・オズボーン ◆実佳・オズボーン ◆由良・オズボーン ◆梶原美紀 ◆川口花乃子 ◆川口真央
◆川口育代 ◆川口玄木 ◆川瀬なおつ ◆岸俊一 ◆吉瀬千春 ◆木村晋介 ◆木村仁美 ◆ジム・クーバー ◆國吉絵麻 ◆久野寛子
◆熊谷正 ◆倉本信之 ◆小斎富士子 ◆櫻井武司 ◆櫻井健太 ◆佐藤仁 ◆沢田節子 ◆志喜屋秀壮 ◆志澤秀一 ◆志澤美里 ◆関智
◆関宴子 ◆関ひばり ◆袖岡敦史 ◆滝村雅晴 ◆高橋まゆみ ◆田中勇樹 ◆谷口千絵 ◆田原佳代子 ◆堤哲 ◆長塚かおる ◆並木
和之 ◆ピーター・バラカン ◆樋貝吉郎 ◆福原義久 ◆古河雄太 ◆古田裕江 ◆本田努 ◆松井忠彦 ◆松井はるの ◆松井ヒカル
◆松井博司 ◆松井真守美 ◆松崎稔 ◆宮崎光弘 ◆宮澤泰也 ◆宮澤恵美子 ◆宮庄宏明 ◆森下茂男 ◆森田わかな ◆森田似季
◆山田真理 ◆柚木公奈 ◆吉瀬千春 ◆吉田幸 ◆吉村輝幸 ◆横山泰介 ◆渡辺熱 ◆ビクター・ワラノフ (あいうえお順・敬称略)

親子の日普及推進委員会
<http://www.oyako.org>

7月の第4日曜日は 親子の日 2013年 活動報告書 *present to the future*

年に1度、親と子がともに向かい合う日があったっていい。
その日を通じて、すべての親子の絆が強められたら素晴らしい。
そんな願いを込めて、7月第4日曜日を「親子の日」にしたいと私たちは考えました。
2013年は、7月28日が「親子の日」。
みなさまからのご協力をいただき、
親と子の距離がぐっと縮まる数々のイベントを開催し、
多くの共感をいただくことができました。



親子の日普及推進委員会 <http://www.oyako.org>

.....*present to the future*.....

5月第2日曜日は、母の日。6月第3日曜日は、父の日。

7月第4日曜日は、親子の日。

『生まれて初めて出会う「親」と「子」の関係を見つめることは、家族、地域、社会、そして自然をも含むすべての「環境」に敬意をはらい、平和を願うこと』という思いを込めて、2003年に「親子の日」のオリジネーターであり、米国人写真家ブルース・オズボーンは、7月の第4日曜日を「親子の日」と提唱しました。

その理念に共感し、「親子の日」を『親と子がともに向かい合う日に、そしてその日を通じてすべての親子の絆が強められる日に、さらには存在する事に感謝できる日に』と「親子の日普及推進委員会」を発足。「親子の日」を定着させるために、さまざまな企画を実施してきました。これからも多くの人たちに、ブルース・オズボーンの願いと私達の理念が届くように、「親子の日」のメッセージを世界に向けて発信していきたいと考えています。

“present to the future”という「親子の日」のスローガンが表すように、「親子の日」に込めた思いは、きっと未来への宝物になると信じて、今後も活動を続けていきたいと思っています。



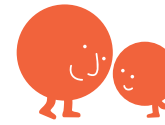
親子の日普及推進委員会
<http://www.oyako.org>

◆ブルース・オズボーン プロフィール <http://www.bruceosborn.com/>

Art Center College of Design で、コマーシャル写真を専攻。1980年の写真展「LA Fantasies」をきっかけに、日本での活動を本格的に開始。ボストン子供の博物館の企画展「TEEN TOKYO」では、東京のティーンエージャーを撮影して展示。ボストンの MCET 制作、インターネットを使つての双方向教育番組では8回にわたってディレクターを務め、アメリカの高校生にむけて“生の日本情報”を伝えた。1982年から始めた「親子」写真の撮影は今年で31年目になり、撮影した親子の数は5000組近い。2003年より7月の第4日曜日を「親子の日」と提唱したオリジネーターで、記念日協会にも登録。「親子」をテーマにした写真展は、外国人特派員クラブ、横浜ランドマークタワー、山梨県立美術館、金沢21世紀美術館、愛・地球博園内愛知県児童総合センターなど、各地で数多く実施。

<写真集・著書>

「親子」(デルポ出版)
「Oyako」(INKS INC. BOOKS)
「KAZOKU」(角川書店)
「ごめんなさい」(日本標準)
「反パンビ症候群」(ヒヨコ舎)
「親馬鹿力」(岩崎書店)
「この国の環境」
(アサヒビール・清水弘文堂書房)



「親子の日」の普及推進にあたって、2013年度は右記の企業・団体のご協力をいただきました。

●特別協賛

OLYMPUS

オリンパス株式会社

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

第一生命保険株式会社

oticon
PEOPLE FIRST
オーディコン補聴器

オーティコン補聴器

森永乳業

森永乳業株式会社

DAC
group

DAC GROUP

●協賛

東京都民銀行

東京都民銀行

Kyorin

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

TRINITYLINE

ドクタープログラム株式会社

SEIKO

セイコーホールディングス株式会社

●特別協力

毎日新聞

株式会社毎日新聞社

●協力：オリンパスイメージング株式会社／エプソン販売株式会社
株式会社円谷プロダクション／協同組合日本写真館協会／株式会社アルファ

●後援：株式会社 J-WAVE／よしもと PaPaPARK

●Special thanks：Spaceport Inc.／滋賀県米原市／石川県珠洲市／
山口県下松市／愛知県児童総合センター／東京 YMCA "liby"／
株式会社浪漫堂／BBスタジオ広尾／All American Supply, Inc.／
Studio Bears／アライアンス・ポート／Motion Gallery



「親子の日」の活動では、グリーン電力 (1,000KW) を利用しています。



「親子の日」オフィシャルサイト <http://www.oyako.org>

日・英バイリンガルの「親子の日」情報発信プラットフォームです。「スーパーフォトセッション」で撮影した写真掲載、「写真コンテスト」と「エッセイコンテスト」の入賞者発表、「親子大賞」の投票と発表、「親子ニュース」など、「親子の日」の重要な情報が常に掲載されています。

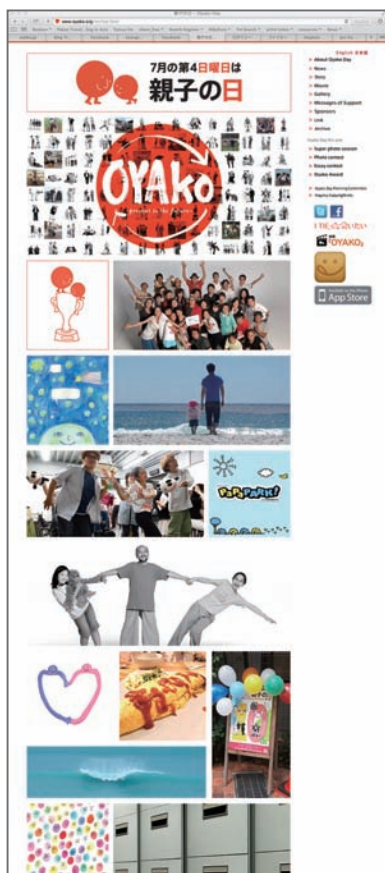
◆ オフィシャルサイト



present to the future

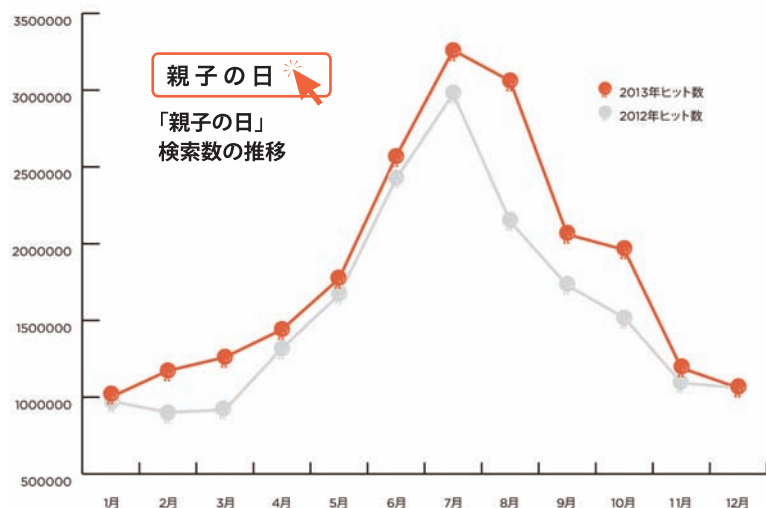
2013年の「親子の日」は
7月28日(日)
> Japanese

2013 Oyako Day
July 28 (SUN)
> English



◆ SNSの活用

Facebook・Twitter・mixi など、SNS の活用を加え、多くの人たちとのコミュニケーションをはかりました。Google や Yahoo! JAPAN など「親子」と検索すると「親子の日」のオフィシャルサイトが常にトップにあり、今年も、「親子の日」への関心の高さを実感しました。



「親子の日」2013年度の制作物

昨年に引き続き、通常の公式事業に加えて、被災地応援活動も大きな事業の一環として取り組み、制作物にも活動の内容が反映するようにつとめました。

◆ 「親子の日」ポスター

▼ オリジナルポスター《A2 サイズ…500 枚》



▼ 日本写真館協会ポスター《A2サイズ…500枚》

日本写真館協会が「親子の日」の事業に積極的に参加して下さることになりました。



▼ オリジナルエコバッグ《300 枚》

11回目の「親子の日」を元気に飾る
楽しくって賑わいのあるイメージの
便利なエコバッグができました。



▼リーフレット
《三つ折り観音開き…
5,000 部》



▲ステッカー《1500枚※協力:株式会社アルファ》

▼「親子の日」フライヤー《公式イベント紹介…30,000 枚》



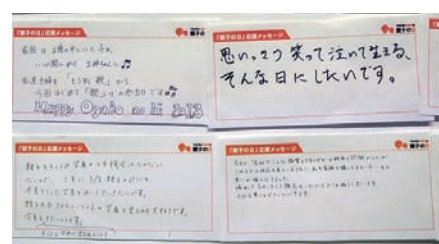
フライヤーは「親子の日」の普及に欠かせません。
今年は三つ折りの素敵なフライヤーができ、
多くの人たちの協力を得てたくさんの人に手渡されました。



7月の第4日曜日は
親子の日



ブルース・オズボーンが2003年に「親子の日」を提唱して以来続けている撮影イベントは今年で11回目。今年も、新聞や雑誌、インターネットを通じて全国からの応募者があり、その中から100組の親子をご招待させていただきました。参加者の中には、被災されたご家族、「I TIE ☆会いたい」のワークショップに参加した家族なども加わってくださり、たくさんの人たちのだいじな思い出作りに協力することができました。撮影した写真は、後日それぞれの親子に1枚ずつ送付。また、ウェブサイトとオリンパスギャラリーでの展覧会で紹介しました。



親子の日 の一日



Ustream「親子の日」スーパーフォトセッション LIVE
「スーパーフォトセッション」で合計100組の親子撮影をした一日を、会場になったBBスタジオ広尾から中継しました。(7月28日9:00～撮影終了まで)
協力: 鶴沼海岸チャンネル



スーパーフォトセッション応募の際に写真と一緒に送られてきた応募動機には、様々な親子のドラマが書いてあり心を打たれたり揺さぶられたりします。ここに、動機の一部を紹介します。

＊この機に「親子」という縁について考えました。子は親を選べません。だから親は子に「この人の子で良かった」を思える環境や体験を与える義務があると思います。楽しいだけでも厳しいだけでもダメです、失敗や後悔、お互い傷つくこともあるでしょう。いろいろ試行錯誤を重ねながらの毎日ですが、そんな姿を写真に残してください。



＊試行錯誤しながら親子も共に成長して行きます。生活の中で様々な親子関係が形作られて行く毎日はExcitingにも思えます。子供が独り立ちして行く過程に於いて、心が離れる時期があっても、やがてお互い理解し合えるのが親子と言うものではないでしょうか。今、自分を振り返ってみても、親には随分苦労をかけたものだと思ひ感慨深くなります。母と父が元気なうちに、一緒に写真を是非とりたいたいと思って応募しました。



＊良い親子ってなんだろう？と思いを巡らせれば、それには決まった形はなく、それぞれの親子にそれぞれの良い関係が生まれるのだろうと、しみじみ思い至りました。私たちは？？？どうなんだろう？写真に収まった形から見つめ直したいです。



＊友人のFBやブログを通じて「親子の日」について知り、HPを拝見しました。その作品から感じる撮られる側と撮る側の心が通った温かな家族写真に感激。家族の幸せな時間を写真に閉じ込めた宝物のような写真に月並みですが感動しました。『こんな素敵な写真、宝物を家族に残したい』そう思って応募させていただきできました。



＊産まれたときから両親との親子の関係はごく当たり前のことでしたので、特別何かあらたまって考えることもありませんでした。しかし、自分が親という立場になったことで、親について、親子のあり方について、様々なことを考えるようになりました。今は、我が子の成長する姿をみるという何気ない日々がとても幸せで、日常の大切さを実感しています。ブルース・オズボーンさんの写真からは、家族のそんな自然な姿に幸せがあふれている様子が本当によく伝わってきて、見ていて思わず笑顔になります。この機会にお会いして、ぜひ私達家族を撮影していただきたいです。

＊中学生になった息子は、休日も部活や友達との付き合いで忙しく、親と一緒に過ごすことも少なくなってきました。せめて「親子の日」には…家族そろって過ごせるように、息子に声をかけて撮影に行きたいと思い応募しました。



＊一杯ありすぎて上手に説明できないのですが、まるでタイムマシンに乗ってるみたいに思える日常生活が、どれだけハッピーなのかを撮影会に参加して感じたいと思います。

＊今回スーパーフォトセッションに応募するにあたって、「家族」と「親子」がどう違うのか改めて考えて見ました。そして「家族」は枠の広い名詞で、「親子」が最小限の集合体と言う考えに至りました。震災を体験した後、親子一緒にいられる今の私はとても恵まれていることを感謝！この思いを、ブルースさんのカメラで捉えて欲しいと思います。



＊次男が産まれてから一年半が経ちました。長男が大けがをしたり、次男が突然の病に襲われたりして、胸を痛めることもたくさんありましたが、家族4人元気に過ごせる毎日を取り戻せて、ただただ感謝でなりません。この「親子の日」という記念日に、家族の絆をもっと深められればいいな、と思って応募しました。



＊オズボーンさんの撮ってくれた写真を見るたびに、以前、スーパーフォトセッションに参加したときの思い出がよみがえってきます。この撮影をきっかけに、その後我家では、7月の「親子の日」には、なかなか集まる時間のない家族が集まってゆっくり話をしたり、自分達が子どものころの話を聞いたり、思い出話をしたりして、話に花が咲く楽しい時間を過ごすことにしています。今回は、高齢となった祖母も誘って、家族が全員で集まる計画をしています。その思い出を写真に記録していただけたらと、応募させていただきます。

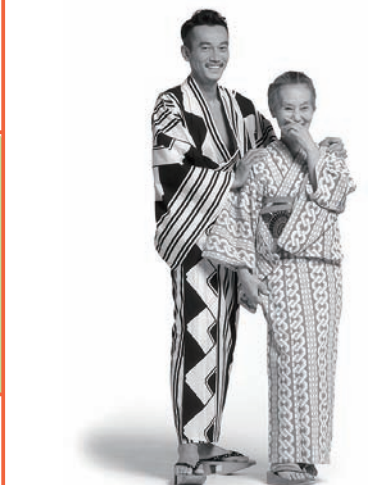


＊友人の紹介で、オズボーンさんの親子写真展を拝見し、オズボーンさんの世界の虜になってしまいました。スタジオでの限られた撮影時間内で、どうしてこんな自然な表情が撮れるのだろうかと思ひ不思議でたまりませんし、何よりも写真に写った親子の自然な表情に感銘を受けます。我家の親子関係は、すこぶる健全で、回りの人たちからは仲の良い親子だと言われますが、その成長した我が家の子どもたちとの記録をしておきたいと、参加を希望いたします。



＊いろんな壁にあたった時、心を支えてくれるのは家族。だから、笑顔の家族写真はきっと、心の糧となってくれることでしょう。これからもずーっと、笑顔の溢れる瞬間を家族全員で作りに上げていきたいです。成長をしていく子どもたちの宝物になるような写真を撮って下さい。

＊新聞でオズボーンさんの活動について知り、写真集を購入してたくさんの作品を見させていただきました。様々なバックグラウンドを持ついろんな方達の個性を引き出した素晴らしい作品にとても魅かれ、思い切って応募しました。家族そろってオズボーンさんの被写体になる体験ができたら・・・うちの家族をどんなポーズで撮って頂けるのか？と、楽しみです。



＊妻が仕事の都合で海外に転勤してしまいます。娘が3人いますが、3人とも海外での生活を希望したので妻について海外に行きます。私は一人で日本で働くわけですが、その前に是非とも家族の写真を撮って頂きたいと思い応募しました。

＊お腹を痛めてないけれど、生まれた日に会えなかったけど。私たち親子になりました。オズボーンさんに写真をとっていただけたら、幸せが増えます。笑顔が増えます。思い出が増えます。よろしくお祈り致します。



今回で 10 回目をむかえた写真コンテスト。
応募総数は 1322 点と、昨年より更に多くの数の作品が国内外から送られてきました。内容的にも、バラエティー豊かな作品が寄せられ、皆さんの日常を楽しく垣間みることが出来ました。受賞者は以下の 24 名に決定しました。

◆ オリンパス賞



渡辺理加（東京都）



片山智士（京都府）



増井典子（北海道）

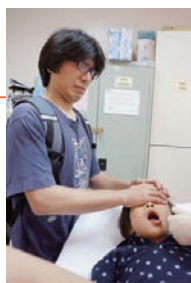
◆ オーティコンみみとも賞



菊地由紀子（神奈川県）



江藤美枝（福岡県）



間野真由美（神奈川県）

◆ ミルトン賞



安枝雅俊（東京都）



都知木保彦（福岡県）



蒔山都志子（静岡県）

◆ 毎日新聞社賞



増井典子（北海道）



佐久間みのる（東京都）



金田芳明（兵庫県）

◆ 「親子の日」賞



宮田啓太郎（福岡県）



諫山亜由美（滋賀県）



中島瑠衣（福岡県）



◆ 森永乳業 まきばの空賞



成田紗織（群馬県）



丹羽賢一（宮城県）



三浦秀貴（山口県）

◆ トリニティーライン賞



花井みさと（三重県）



鈴木勝之（茨城県）



辻谷海帆（茨城県）

◆ DAC・旅モノ賞



山下礼子（東京都）

◆ エプソン賞



中村幸雄（和歌山県）

◆ 円谷プロ賞



石田祐子（大阪府）



第 9 回目をむかえた「親子の日エッセイコンテスト」には、611 点の応募がありました。作品に込められたそれぞれの大切な思いを痛切に感じながらの審査会。
今年も、9 才～ 90 才という幅広い年齢層からの応募があり、多様な「親子」の関係、そこにまつわるドラマを知ることができました。



◆ オリンパス賞

石川あい（東京都）
「ある日。」

武田麻衣（愛媛県）
「母の弁当」

川村雅恵（神奈川県）
「荷を解く日」

◆ オーティコンみみとも賞

木村高德（滋賀県）
「卵」

浅井誠章（神奈川県）
「AIBO と父」

石丸千里（岡山県）
「私の出番」

◆ 森永乳業 まきばの空賞

与那嶺宏喜（東京都）
「父の背中」

村松祐輔（神奈川県）
「甘えん坊」

橘 美優（愛知県）
「母から息子への贈り物」

◆ ミルトン賞

都築直飛（京都府）
「いいとこ連れてってあげる」

竹崎愛理（長崎県）
「はじめてのおつかい」

坂本ちひろ（山梨県）
「かわいいよ」

◆ トリニティーライン賞

池田裕美子（静岡県）
「加齢臭」

古賀厚子（福岡県）
「魔法の言葉」

奥村美和子（大阪府）
「ピグマリオン効果」

◆ 毎日新聞賞

田端 歩（京都府）
「父の日課」

緒方春香（東京都）
「余るくらいたくさん」

尾崎美雪（北海道）
「おやこでおやすみ」

◆ 円谷プロ賞

府川百合子（神奈川県）
「サル山の風景」

◆ エプソン賞

岩村 圭（東京都）
「指切り」

◆ 「親子の日」賞

林 俊雄（奈良県）
「だいじょうぶ！」

宮本洋子（茨城県）
「幸せにする嘘」

福井敦男（京都府）
「親子の日に」



※入賞したすべての写真とコメント、エッセイはウェブサイトでご覧いただけます。



オリンパス株式会社

「親子の日」のはじめでの協賛企業であるオリンパス。その応援は、今年で10年目を迎えました。ホームページのトップで「親子の日」を告知したほか、社員の皆様にも、ボランティアとして運営をお手伝いいただきました。

例年、共催イベントとして開催する東京・大阪の写真展は、オリンパスイメージングの協力のもと9回目を迎えました。

また、東日本被災地応援プロジェクト「I Tie ☆会いたい」では、Workshopを拡大するために、昨年に引き続き高級コンパクトデジカメ（STYLUS XZ-2）を多数提供いただき、今年も多くの子供たちの笑顔に会うことができました。さらに、今年、製作を開始した映画「OYAKO」にも協賛をいただき、オリンパスからの協力はますます広がっています。



オーティコン補聴器

特別協賛企業として「親子の日」を応援して下さったオーティコン補聴器は、昨年に引き続き「親子の日」当日のスーパーフォトセッションに、各地から5組、20名のお客様をご招待しました。撮影前日に参加者の親子全員で東京見物し交流を深めたあとで撮影会にのぞむ「みみとも親子ツアー」はたいへん喜ばれ、「親子の日」とのコラボレーションとして効果的な企画でした。

沖縄の琉球補聴器とのタイアップ企画「みみとも親子撮影会」も実施。たくさんの親子に笑顔の写真をプレゼントすることができました。



▲沖縄の識名園で実施された親子撮影会模様が紹介されました。

森永乳業株式会社

年間を通して、「まきばの空」牛乳パックやホームページに「親子の日」ロゴマークを掲載しました。新しい試みとして「親子の日」にご賛同いただいているビストロパパ代表、滝村雅晴さんと共同で「親子でオムライス作ろう！」キャンペーンを実施。100点以上の面白いオムライス写真の応募があり、楽しみながら選考しました。優秀者にはオムライス調理器具セットと商品詰め合わせを進呈いたしました。



▲毎日新聞に掲載された突き出し広告

第一生命保険株式会社

昨年に続いて特別協賛企業として応援をして下さった第一生命は、「よしもとパパパーク」の後援を得、「お笑いで、親子を、家族をもっと幸せに！」のコンセプトのもと、吉本クリエイティブ・エージェンシー所属の芸人、博多華丸・大吉、COWCOW、ガレッジセールの3組の協力で、「親子で！家族で！スマイルキャンペーン」を実施しました。



ヨシモト∞ホールでのプレス発表に、ブルース・オズボーンも登場！▲



DAC Group

今年あらたに特別協賛企業として加わって下さったDACは、一般社団法人DAC未来サポート文化事業団を設立。第1弾の事業として、「親子の日」の意義を台東区の小学生とその父兄に伝えるべく、台東区教育委員会と大分県杵築市教育委員会後援の下、「親子の日 絆(KIZUNA)コンクール」を台東区立小学校3年生～6年生を対象に実施。114作品の応募がありました。審査会は、ブルース・オズボーンを審査委員長に向かえて7月1日に行われ、3名の最優秀賞と優秀作品30点を選出。最優秀賞の3名は、副賞として8月7日～9日、親子で大分県杵築市旅行を訪れ、絆(KIZUNA)コンクールの趣旨のとおり、大自然の中で親子の絆を確かめあってきました。



▲DACグループ代表の石川和則氏(右)と最優秀賞受賞者のみなさん





キョーリン製薬ホールディングス株式会社

今年で2年目の協賛企業となるキョーリン製薬ホールディングス株式会社は、Webを中心に「親子の日」に込められたメッセージのプロモーションを展開。たくさんの人たちに「親子の日」のだいじなメッセージを配信していただきました。



▲Milton ママクラブ HP

ドクタープログラム株式会社

ドクタープログラムのコスメブランド、「トリニティーライン」では、今年も10万部の会報誌6月号、10月号にて告知と実施報告を展開。またWebにおいては、インフォメーションやバナー、メルマガなどで認知拡大を図っていただきました。



セイコーホールディングス株式会社

セイコー腕時計100周年を記念して、2013年に初めて「親子の日」を協賛をしてくださったセイコーホールディングス株式会社は、6月5日～6月10日まで、銀座和光本館にある和光ホールにおいて、「ブルース・オズボーン写真展～親子のハーモニー～」を開催していただきました。



◀和光が発行する「チャイム GINZA」6月号に展覧会が紹介されました

▼会期中には、銀座4丁目の交差点に、ブルース・オズボーン撮影の歌手イルカさん親子の写真が展示されました。

株式会社 J-WAVE

銀座和光での「ブルース・オズボーン写真展～親子のハーモニー～」の企画とタイアップしたスペシャル番組、[HELLO WORLD TIME DAY SPECIAL] が、6月10日の「時の記念日」に、J-WAVEで放送されました。出演したのは、シンガー・ソングライターのイルカさん、お父上でサックス奏者の保坂俊雄さん、息子さんとシンガー・ソングライターの神部冬馬さん。ブルース・オズボーンの写真展の会期中に和光のウィンドウディスプレイを飾った親子3代でした。SHELLYがナビゲーターをつとめる「kiss&hug」などの番組でたくさんの時間を提供いただき、「親子の日」のPRと写真展の告知をしていただきました。



株式会社毎日新聞社

特別協力として応援してくださっている毎日新聞社は、5年目になる特集の「親子インタビュー」を紙上で継続。この編集記事は、ブルース・オズボーンが撮り下ろした各界の親子写真と、記者によってインタビューされた親子のストーリーから、さまざまな親子の関係を浮き彫りにするもので、今年もたくさんの親子が登場していただきました。

▼平野レミ+和田唱 親子（6月8日掲載）



▼前田美波里+真木蔵人 親子（7月28日掲載）



2013年9月2日 ▶ブルース・オズボーン オリンパスギャラリー「親子の日」写真展の風景



▶保坂俊雄+イルカ+神部冬馬親子（7月26日掲載）



▶前田吟+前田亨親子（12月1日掲載）



▶高田智子+高田万由子親子（5月5日掲載）



▶生島ヒロシ+生島勇輝+生島翔馬親子（4月20日掲載）



▶高橋恵子+秋山佑奈親子（9月22日掲載）



株式会社アルファ

ポップ広告の専門メーカー、アルファでは、ポップを作って「親子の日」の応援を。シールも作成していただきました。来年度に向けて更に期待出来そうです。

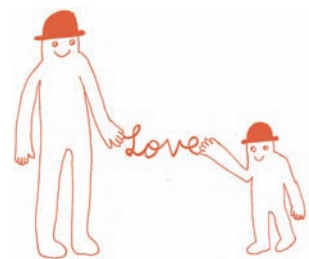


映画「OYAKO」ってなあに？

親子という誰にとっても身近で、それでいてかなり奥深い関係を、感動的なストーリーと美しい映像で綴った作品、それが映画「OYAKO」です。子供だから感じられた空気感、親になってこそわかる愛情、そんな言葉にできない親子の情感が、この作品にはギュッと凝縮されています。ぜひご家族でご覧下さい。親と子のところに幸せな灯りがともるはずです。

1 インタビュー

親子について語る著名人・アーティストが登場します。大林宣彦、コシノジュンコ、S-ken、ウルトラマンなどなど。また「親子の日」撮影会に参加した親子の話も収録。親子ならではの抱腹絶倒なこぼれ話や感動的な話が満載です！



忘れていた縦のつながりを語る大林宣彦監督



日本語「親子」の意味を語るピーター・バラカンさん



コシノジュンコさんも熱烈な親子の日サポーター！



親子写真を撮るきっかけを与えてくれたs-kenさん

2 ドキュメント

2011年、東日本大震災。地震、津波、原発によって私たちは多くのものを失いましたがその中で「親子の絆」は残りました。震災を乗り越えて歩み出した親子の姿を、ブルースが親子写真を撮影しながら取材。変わらない絆を追う感動的なドキュメントストーリーです。写真展や「親子の日」当日の様子なども盛り込まれます。



第18共徳丸前で（気仙沼市／2011年10月）



全壊したはやしや旅館前で（相馬市／2011年6月）



銀座和光で「親子展覧会」も実施されました



今年で11回目を迎えた「親子の日」の撮影風景

3 ドラマ

「親子の日」の撮影出会った親子の話をモチーフに、時間の経過や子の成長とともに親子がどう変わり、親と子がどう生きるかを問ひかけ、そして、親子の「未来」へと繋がる物語にしました。東京の神楽坂、山口県の下松市でもロケを行いました。ドラマ部分をリアリティ溢れる演技で支えるのは、劇団「デッドストックユニオン」主宰の脚本家&俳優の渡部熱、そして映画「はつ恋」での好演が記憶に新しい元木行哉。



ドラマの舞台、山口県下松市笠戸大橋に向き合う諒次



母はキャンドルを灯して諒次の帰りを待った



まるで祖母の生き写しだといわれる孫の花乃子



母の思い出の品々を撮影するシーン



「親子の日」の定着にむけてさまざまな企画を実施してきた親子の日普及推進委員会では、10周年記念企画として映画の制作を計画し、2013年の事業としてすすめてきました。監督は、「親子の日」の普及推進委員会の委員でもありCMディレクターのイノママトシ（猪股敏郎）さん。

この映画は、インタビューとドキュメントとドラマから構成されています。インタビューには、「親子の日」普及推進委員で「Think the Earth」プロデューサーの上田壮一さん、映画作家の大林宣彦さん、ファッションデザイナーのコシノジュンコさん、ジャーナリストの鳥越俊太郎さん、ブロードキャスターのピーター・バラカンさん、フォトジャーナリストの広河隆一さん、クリエイティブディレクターの小池一子さん、プロスキーヤーの三浦豪太さんなどに登場していただいております。それぞれの方々の「親子」の視点について語っていただき、ブルース・オズボーンが取り組んできた「親子」というテーマについての話を伺っています。ドキュメンタリーは、3・11以降、東北を訪れたブルース・オズボーンが、被災の中を生き抜く親子の姿を捉える映像や、今までの「親子の日」の様子などの記録です。ドラマの部分は、山口県下松市でロケを実施。地元の人たちの協力を得て完成に漕ぎつけた「親子」のストーリーです。



山口県下松市の取り組み

◆下松市では、ムービーコミッションを立ち上げて、制作のお手伝いをしてくださいました。2回の試写会には、600人の市民が来場し、映画を楽しんでくださいました。



下松市から、イノママトシ（猪股敏郎）、渡辺熱、ブルース・オズボーン、井上佳子の4名が「特別功労賞」を受賞しました。



クラウドファンディング MotionGallery



▲映画の資金は、協賛企業、団体、個人よりの支援以外に、不特定多数の人々を中心とした新しい形の資金集め、クラウドファンディングにチャレンジ。300万円の目標額を超える3,314,500円を213人の方々の協力でクリアすることができました。

映画製作スタッフ

イノママトシ（猪股敏郎）／監督
渡辺 熱／脚本
石井正人／プロデューサー
関 智／プロデューサー・広報
田中勇樹／モーションギャラリー担当
岸 俊一／テキスト
沢田節子／デザイン
Mika Osborn／デザイン・ロゴデザイン
Yura Osborn／イラストレーション

志澤秀一／広報
井上佳子／総合プロデューサー
出演
Bruce Osborn／大林宣彦／コシノジュンコ／鳥越俊太郎／小池一子／三浦豪太／広河隆一／小野 剛／松山均／仲野 茂／元木行哉／佐々木裕美／渡辺 熱／川口真央／川口花乃子 他

音楽
Morgan Fisher
Rickie-G
CHAN-MIKA 他

【連絡先】
〒240-0199 葉山郵便局私書箱 13 号
「親子の日」普及推進委員会映画「OYAKO」製作プロジェクト
メール info_oyako@oyako.org

製作：親子の日普及推進委員会

※製作費の一部は「親子の日」の運営費の一部を運用いたしました。「親子の日」に協賛いただきました企業のみみなさまに感謝します。



「親子大賞 2013」は清水アキラさんと清水良太郎さん親子に決定！

親子の日普及推進委員会では、「親子」について考えるきっかけになって欲しいとの願いから、輝いている親子を投票で選ぶ「親子大賞 2013」を実施。7回目となる今年の受賞者は清水アキラさんと清水良太郎さん親子に決定いたしました。ご本人たちからの受賞の言葉をいただきましたので紹介させていただきます。投票したみなさまからもたくさんの応援メッセージをいただきました。お二人の親子エネルギーが、少しでもたくさんの人たちに届いて、世の中の元気が倍増するよう、願わずにはいられません。

「親子大賞」の受賞は、私共にとって、親子の絆をより強く、より太く、より長い絆にしてくれました。今迄と変わらず、家族を尊重し、尊敬し、自然な家族でありたいと思っています。

これからも「親子の日」の活動を応援致します。

清水アキラ 清水良太郎

▼ 清水良太郎 <http://ameblo.jp/ryotaro-shimizu/shimizu/>



▼ イルカ <http://www.iruka-office.co.jp/>



※みなさまから寄せられたコメントの一部です

親と同じ世界を遊んだ息子。自分がいては息子の邪魔になる、と引退を考えている父。色々考えさせられるお二人です。大好きです。

ものまね上手 遺伝だなーと感じますw

子供を信じてるお父さんの姿と父を越えたいと尊敬の眼差しでみる息子の姿がすてき！

父の背中を見て芸能界で頑張っている良太郎さんの姿がとても素敵です。その息子をいつも温かい眼差しで見つめているアキラさんも素敵です。輝いている親子だと思います。

親子でものまね対決出来るなんてすごい！アキラさんが息子を見てるまなざしが温かい。理想の親子だと思います。

まさに、2013年の親子大賞にピッタリです。一度ショーに行けば、その意味がわかります。

ブルース・オズボーンが撮影した親子のブログから

▼ 平野レミ <http://www.remmy.jp/>



▼ 生島ヒロシ <http://ameblo.jp/ikushima-hiroshi/>



▼ 仲野 茂 <http://sgrnkn.jugem.jp/>



公式サイト「各地のイベント」に登録された情報

「各地のイベント」サイトに登録される親子関連事業が年々増加しています。事業の内容はさまざまで、「親子」というキーワードが生活に深く関わっているという事が実感できます。

※JAXA 親子航空教室（東京都調布市）



※フードコーディネーターと、安心で美味しい“おともだち食”食材と道具を巡る旅に出よう（東京都小金井）



※親子でたのしくおいしい食育ベジスタ（東京足立区）



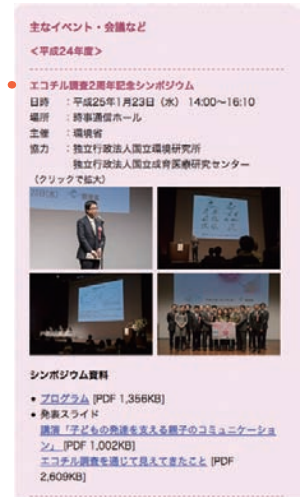
※関西大学アイスアリーナ市民開放デー～親子スケート教室（大阪府高槻市）



※この日のスペシャル TBS 英語プロジェクト（東京中央区）



※子どもの発達を支える親子のコミュニケーション（東京中央区）



※くらしマルシェ（広島市）



※絵本作家ふくぐとしおさんによる親子の読み聞かせ（広島市）



◆ 協同組合日本写真館協会

今年あらたな試みとして、写真館会員が撮影した親子写真を、オリンパスギャラリーでの「親子の日 2013 ～親子の日に出会った親子～」で、同時展示しました。映画「OYAKO」の制作にも、クラウドファンディングを通じて会員有志のみなさまからのご協力をいただき、今後にむけての協力関係が更に深まりました。「親子の日」の撮影企画にも、昨年以上の会員様が参加してくださいました。



▲日本写真館協会のために作成したポスターと松山均会長



▲写真館が発行する季刊誌にも大きく掲載されました



▲吉田写真館

▲SAITO STUDIO



▲フォトアトリエ アディ

▲BAL

◆ つぶやき大喜利 DNA Circus

今年も TWITTER を使ったイベントを実施しました。たくさんの人からの楽しいつぶやきで、TWITTER バーチャル会場は賑わいました。親子や家族の絆に関するいくつかの「お題」を出して、そのお題にツイートするというのがこのイベントです。応募されたつぶやきの中から、親子の絆にあふれた投稿をされた参加者には、「親子の日」からオリジナルプレゼントを贈りました。



◆ 「親子の日」に親子でオムライスを作ろう作戦！

ビストロパパの滝村雅晴さんと「親子の日」がコラボで実施しているのが、今年で3回目になる「親子の日」に親子でオムライスを作ろう作戦！ 今年も、特別協賛企業の森永乳業と料理写真共有サービスのミールさんが協力してくださり、もりあがりました。美味しいオムライスを作って投稿してくれた人には、滝村さんと「親子の日」から賞品と表彰状を授与しました。



▲ビストロパパのHPでイベントを告知

▲入賞作品から

◆ Robert Harris & S-ken presents “Old Dicks Talk”

6月19日／西麻布「新世界」
DJで作家のロバート・ハリスさんと、音楽プロデューサーのS-kenさんのトークショーにゲスト出演。「親子写真」を撮るきっかけになった貴重な写真の数々が見られました。



◆ CHAN-MIKA ライブ

7月21日／逗子サーファーズ
映画「OYAKO」で、楽曲を提供してくださっている CHAN-MIKA さんのステージで映像と歌のコラボをしました。



◆ 洋之助ファンフェスタ

9月1日／葉山公園
環境をテーマにする海のイベント「洋之助ファンフェスタ」で、「BRUCE OSBORN-Barefoot Studio」撮影会を実施。この時の様子は、映画「OYAKO」で見ることができます。



◆ Rickie-G ライブ

10月11日／京都府立文化芸術会館
映画「OYAKO」に楽曲を提供してくださった Rickie-G の京都でのライブに参加。「親子」写真をステージに映して、感動的なシーンを演出しました。



◆ わくわく親子フェスタ@かわさき親子撮影会

10月19日／川崎産業振興開館イベントホール
「親子の日」の応援メンバーの一人、写真家の熊谷正さんが、40組の赤ちゃんや幼児の親子を撮影しました。家族の貴重な記念写真になったと喜ばれました。



◆ ブルース・オズボーンの「親子」写真放談

10月19日／世田谷ものづくり学校
世田谷ものづくり学校・ILCAの学校で、ロバート・ハリスさんとブルース・オズボーンの講座を開講。映画「OYAKO」の一部を見ながら、親子についての対談をしました。





各地で実施された写真展

◆「親子の日 2013 ～親子の日に出会った親子～」

会場：オリンパスギャラリー

2013年 9月12日～25日／東京 10月10日～23日／大阪

オリンパスイメージングとの共催で、今年も東京と大阪のオリンパスギャラリー 2会場の展覧会が実現しました。

写真の他に、「親子大使」からのメッセージを展示。オープニングパーティーにはたくさんの方が来場。温かい共感のコメントをいただきました。

協力いただいたエプソンからは、プリントのためのインクなどご提供をいただきました。



▲たくさんの方が来場して熱心に写真を見ていただきました



▲お祝いのスピーチをしてくださっているコシノジュンコさん



▲写真コンテストの入選者の作品も展示

◆ブルース・オズボーン写真展《親子のハーモニー》

会場：和光ギャラリー／東京都 2013年 6月5日～10日

銀座4丁目にある和光ビル6階「和光ホール」で、ブルース・オズボーンが毎日新聞のシリーズ「親子インタビュー」のために撮り下ろした写真を展示しました。



◆DAYSフォトジャーナリズム祭「いのちの地球(ほい)に生きる」

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館／神奈川県 2013年 8月16日～28日

「DAYS大賞受賞作品」とともに、「いのち」「沖縄」「福島」をテーマにした作品のひとつとして、ブルース・オズボーンの作品も展示されました。



◆ブルース・オズボーン写真展

会場：ザ・モール周南／山口県下松市 2013年 11月7日～25日

映画のロケ場所となった下松市で、「親子」写真展を開催。展示作品は、今まで撮影した4500組の親子写真から31点を選んで展示。下松で撮った親子の写真も展示されました。



◆写真展&ワークショップ「TIE☆会いたい」を各地で開催しました

「TIE ☆ 会いたい」は、3・11をきっかけにスタートしたプロジェクトです。離ればなれになってしまった人たちを



繋ぐという意味も込められていて、「親子の日」のスタッフは、被災地に出かけて、子どもたち向けの写真と言葉のワークショップを実施。写真やメッセージで、自分の日常を発信するための手伝いをしました。

<http://i-tie.jp/>

◀「TIE ☆ 会いたい」の事業を助成して下さったCIPAフォトエイドの報告書

◆～子どもたちがレンズを通して見た被災地～

会場：3331Arts Chiyoda内 コミュニティスペース／東京都

2013年 1月18日～27日

千代田区末広町の3331Arts Chiyoda 内コミュニティスペースで展示会とワークショップを開催。撮影した写真にコメントを書いて被災地への思いを込めたメッセージを送りました。また会場では「親子の日」普及推進委員会のメンバー猪股敏郎氏制作の映像を流し、来場者に活動の様子を詳しく知っていただくことができました。



◆～子どもたちがレンズを通して見た被災地～

会場：イオンモール新潟南・田中屋本店みなと工房・

BSN 新潟放送本社／新潟県 2013年 2月16日～28日



◆BSN 新潟放送主催の写真展覧会とワークショップが実施されました

◆～子どもたちがレンズを通して見た被災地～ ブルース・オズボーン写真展～あなたにありがとう～

会場：みなとみらいギャラリー（横浜YMCA主催）／神奈川県

2013年 3月12日～18日



◆講師からカメラの取り方レクチャーを受け、被写体を捜しに探検するワークショップ

◆～子どもたちがレンズを通して見た被災地～

会場：JICA市ヶ谷ビル国際会議場／東京都

2013年 3月20日～4月6日



◆全国各地から訪れる人たちが集う会場で多くの人に写真を見てもらい、激励のメッセージもいただきました

◆～子どもたちがレンズを通して見た被災地～

会場：葉山町葉山図書館／神奈川県

2013年 4月27日～29日



◆葉山芸術祭の一環として行われたこの事業には、地元の子供たちが多数参加。葉山の春を撮影して、東北へのメッセージとしました



◆ 書籍

* ナショナル・ジオグラフィック
日本語版 3月号

2011年の東日本大震災後に訪れて
出会った親子を再び訪問。
撮影した写真を中心に、その後の
様子を取材してきました。



* 湘南スタイル「親子の日」

湘南の親子を撮影するイベント「湘南の親子の日」が、ACTUSの協力を得て、湘南テラスモールで実施されました。「親子の日」が、広がるための強力な応援団です。



* 南三陸からの手紙 #2

南三陸の人たちが制作する書籍
への写真使用依頼を受け、東北
で撮影した親子の写真を提供し
ました。



* DAYS JAPAN 新年号

連載「私の取材機材」に、ブルース・オズボーンが登場しました。



* 魚眼人

写真家の樋貝吉郎の編集する雑誌「魚眼人」に、親子写真が掲載
されました。



◆ ラジオ

「親子の日」の活動を、ラジオの電波に乗せて報告しました。

* 「湘南ビーチ FM」に出演



* 「かわさき FM」に出演



* 「TOKYO FM」に出演



◆ 新聞

* お母さん業界新聞

全国で10万人の読者を持つお母さんむけ新聞に、今年
も「親子の日」の記事を掲載してくださいました。



* 朝日新聞



◆ カレンダー

長年の努力が実って、「親子の日」の認知度も増えました。

* 円谷プロ

ウルトラマン特製
カレンダーには、
毎年「親子の日」
が掲載！



* くもん友の会



* LALA
ガーデン
つくば





◆ ウェブサイト

* 鷺沼海岸チャンネル



* タウンニュース



* 世田谷ものづくり学校



* NHK NEWS WEB



* こんな日みつけた



* IMA ONLINE



* NPO 法人ひさし



* 子どもの写真の神々



* デジカメ Watch



* カメラマンイザワの拝啓



* 沖縄タイムス



* スペースポート



* 横浜・八景島シーパラダイス



◆ 雑誌

* NUMBER 1 SHINBUN



2013年7月号

東京に拠点を持つ外国人の記者クラブで出している月刊誌に、親子についての記事を掲載。

◀英国人でジャーナリストのヘンリー・ストークスさんと、タレントのハリー・杉山さん親子が表紙になりました。／撮影：Bruce Osborn



◆ ウェブサイト

* FCCJ



* AI-AP



* TOKYO ART BEAT



講演会

* KPPA セミナー／韓国

8月27日～29日

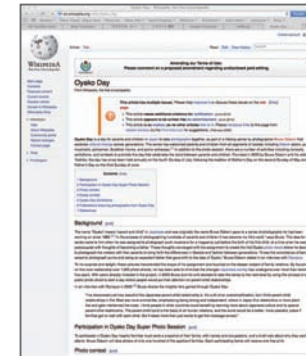
KPPA (韓国の写真業界団体) に招待され、映像とスライドを見ながら、「親子の日」について語り、また写真家としての可能性を話しました。参加者からは多くの共感をいただき、海外に向けての新しいステップとなりました。



* ART CENTER



* WIKIPEDIA



* WIKIPINS





Facebook、Twitter、MIXI、ブログ

Facebook、Twitter、MIXI、ブログに、みなさまが書いてくださった素敵なメッセージ！



よろこび隊 >>

「親子の日」に協賛している第一生命が企画したイベントのプレゼントで、ガレッジセールさんの声が入った目覚まし時計をいただきました。寝起きが悪かったガレッジセールさんファンの娘は、目覚ましとともに起きようになって、母親の私は大助かり！ 朝のイライラから解放されました。

オト樹 >>

子どもが授かったツキに続いて、「親子の日」の撮影会の参加権を獲得しました。当日は、子どもはまだ小さいので、何となく緊張していましたが、優しいスタッフさんの誘導のおかげで、安心して撮影に臨めました。集まった親子の方とおおはし出来たのがヨカッタです。来年はスタッフとして応募しようかな～

しろくろ >>

「親子の日」がはじまる前から、オズボーンさんのお仕事に興味を持っていたので、今でも素晴らしいエネルギーを持って活動しているオズボーンさんに敬意を持ち、応援している1ファンです。これからも頑張ってください！

常盤 >>

数年前にセミナーでオズボーンさんに会いました。生撮影を見たりお話を聞いてから、大きな影響を受け、オズボーンさんを目標に頑張っています。そのオズボーンさんが、我家の親子を写真に撮ってくれる！！「親子の日」には、朝からソワソワして会場に出かけました。カメラの前では緊張してしまいましたが、送ってもらったプレゼントの写真を見て、大満足。我家の玄関に飾っています。

待合い >>

オズボーンさんの「親子の日」に因んで7月28日の日曜日に、私たちの町でも「親子の日」のイベントが開催されましたので、家族で参加しました。おかげで、夏休みの思い出が作られました！ふれあい撮影会で家族写真撮ってもらったら、プリント1枚プレゼントしてくれました。近所のお友達にもいっぱい会って、賑やかで楽しい一日でした☆☆☆☆

なみこ >>

今年始めですけど、「親子の日」の応援ということで、私たちも撮影会を企画しました。第1回目でしたし、多少の手違いもありましたが、無事終了！たくさんの素敵な親子と一緒に、たくさんのLOVEを感じて、幸せな疲労感に満たされています。参加者、関係者の皆さん、本当にありがとうございました。また、来年「親子の日」にお会いしましょうネ…。

市松 >>

念願だった「親子の日」の撮影会に参加しました。ドキドキして会場に行っただんですが、会場は、和気あいあいな雰囲気。スタッフの方たちも、とてもフレンドリーで、緊張が和らぐ頃合いに、いざ！撮影。おかげで、我家らしい雰囲気、撮影してもらえたように思います。撮影後も、会場を離れがたく、待合室に戻って、写真集を見たりしながら、「親子の日」を体感してきました。



清 >>

ひょんなことからブルースさんを知って以来、ブルースさんは、私の尊敬する人リスト10に常に入っています。写真を撮る仕事に就いてからは、なおさらのこと。ブルースさんの「親子」のシリーズのように、私も、継続出来るようなテーマに早く出会いたいと、日々精進しています。「親子の日」が早く国民の休日になって、ブルースさんのパワーを世界に振りまいて欲しいです。

ふるさと >>

親子の日写真コンテストに入賞！遠くに住むおからも、「おめでとぅ～」って連絡もあって親孝行ができました！



いくよ >>

自分のストレスが高じて、いけないと思っていてもいい過ぎてしまう…私って、本当に情けない親。今日も、息子を、不機嫌な顔のまま学校に送り出してしまって、猛反省！！何となくコンピューターに向かって「親子」と検索していたら、「親子の日」という日があるのを発見！！しかも、それが今日だということ。HPにいっぱい掲載されているオズボーンさんの親子写真を見ながら、再び反省！！息子が帰ってきたら優しく迎えてあげようと、心に誓いました。

井尻 >>

今年始めですけど、「親子の日」の応援ということで、私たちも撮影会を企画しました。第1回目でしたし、多少の手違いもありましたが、無事終了！たくさんの素敵な親子と一緒に、たくさんのLOVEを感じて、幸せな疲労感に満たされています。参加者、関係者の皆さん、本当にありがとうございました。また、来年「親子の日」にお会いしましょうネ…。

いいね～「親子の日」 >>

ブルース・オズボーン氏が提唱したことで始まった親子の日。結婚10周年の記念に、尊敬する写真家、ブルース・オズボーンさんの親子の日スーパーフォトセッションに参加できるという連絡をもらって、家族みんなで大はしゃぎしました。なんだか、今年はいいい事が多い年。どんな写真になるか楽しみです～♪



さやみ >>

今日は7月の第4日曜日で「親子の日」だそうです。写真家のブルース・オズボーン氏が呼びかけて始まった記念日で、「年」に1度、親子の関係を確認する日」だそうです。今年で11年を迎えるそうです。いろんな事情で普段なかなか会えない親子…などいろいろな親子がいると思いますが、どんな状況でも、親子の関係はかわりません。世界中のだれもがみんな、この日を素敵に過ごせるようになって欲しいです。

日々 >>

今年、「親子の日」についてはじめて知りました。その中で出会った言葉に、大いに共感。「合理性と機能性を求めて変化を遂げた社会は、地球の環境にも大きな影響を与え、わたしたちを戸惑わせています。今、私達に求められていること、それは親子というベーシックで誰でも平等に与えられた関係を再確認すること。それは存在する事への自信を取り戻すことでもあり、人類として地球環境を大切にすることでもあります。」私も「親子の日」の応援をすることにしました。。

望 >>

見てきたよブルース・オズボーン写真展。素敵な写真がズラ～り並んでる中に、いつもとちょっと違う友達の写真。うちの親子も撮って欲しい～





「親子の日」のあゆみ

- 2003** はじめての親子の日
ブルース・オズボーンの自主企画として 100 組の親子を撮影
・「親子の日普及推進委員会」発足
- 2004** 2 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
100 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリーにて写真展「親子」を開催
・第 1 回「親子の日写真コンテスト」を開催
- 2005** 3 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
100 組の親子を撮影
・「親子の日」を記念日協会に正式登録
・銀座アップルシアターで音楽と映像の融合イベント『OYAKO open mic.』を開催
・TV 金沢の主催により金沢 21 世紀美術館で『親子』写真展を開催。会場内特設スタジオでの公開親子撮影会で石川県の親子 30 組を撮影
- 2006** 4 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
105 組の親子を撮影
・外国人記者クラブにて、『親子』写真展を開催
・日本写真館協会の主催イベントにて大阪の親子 30 組を撮影
・愛知県児童総合センターにて『親子』写真展を開催
・第 1 回目「親子の日エッセイコンテスト」を開催
・オリンパスギャラリーにて『ブルース・オズボーンと親子写真』開催
- 2007** 5 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
100 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリーにて『親子の日報告写真展』開催
・第 1 回「親子大賞」を実施
・愛知県児童総合センターにて『親子』写真展を開催
・能登半島地震の被災者親子写真を撮影、ラポルト珠洲で展覧会を開催
・石川県珠洲市が、「親子の日」を公式制定
・JCH (日本カメラ博物館)、千葉県ユーカリが丘にて写真展開催
- 2008** 6 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
100 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリーにて『親子の日報告写真展』開催
・愛知県児童総合センターにて、『親子』写真展開催
・埼玉県越谷市のレイクタウンで『親子 & 仲間』写真展開催



- 2009** 7 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
100 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリー（東京・大阪）ブルース・オズボーン写真展－「親子の日 2009」に出会った親子－開催
・東京ビッグサイト「Photo Imaging Expo 2009」で撮影とトークイベントに参加
・毎日新聞が「親子インタビュー」を連載スタート
・arp の“わたしのこえ”を第 1 回公式ソングと決定
・銀座アップルシアターで、arp とコラボレーションのイベントを実施
・川崎アートセンターで『夏休みは親子 de 映画』企画。写真展も開催
・阪急三番街 40 周年記念イベント『親子写真展』を開催
・愛知県児童総合センターにて、親子写真展『家族のうれしい顔』を開催

- 2010** 8 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
104 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリー（東京・大阪）ブルース・オズボーン写真展－「親子の日 2010」に出会った親子－開催
・滋賀県米原市が、「親子の日」を公式制定
・MOOMIN の「うまれたての瞳」が 2010 年公式ソングと決定し、銀座アップルシアターで「親子の日」普及のコラボレーションイベントを実施
・毎日新聞が「親子インタビュー」の連載スタート
・University of the Pacific (カリフォルニア) で、海外初の「親子写真展」開催
・「親子大使」制度の導入
・ブルース・オズボーンが、「親子」の写真で、International Photography Awards を受賞。海外でも「親子」の写真が高い評価を受けた
・第 4 回キッズデザイン賞にエントリー。入賞を果たす

- 2011** 9 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
110 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリー（東京・大阪）ブルース・オズボーン 写真展－「親子の日 2011」に出会った親子－開催
・公式イベントの「写真コンテスト」は 8 回目、「エッセイコンテスト」は 6 回目、「親子大賞」は 5 回目となる
・6 月、被災地訪問プロジェクトを企画。第 1 回目は、相馬の親子撮影を実施
・7 月、米原駅で「水源の里まいばら OYAKO 写真展」がけがえのないもの” with ブルース・オズボーン」を開催
・10 月、第 2 回目の被災地訪問プロジェクトとして、岩手県の宮古市、大船渡市、釜石市、大槌町、田老町、宮城県の気仙沼、南三陸町で親子撮影を実施
・CIPA フォトエイドの助成を受けて、東日本被災地応援プロジェクト「TIE ☆ 会いたい」を 2012 年に実施する事が決定

- 2012** 10 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」で
110 組の親子を撮影
・オリンパスギャラリー（東京・大阪）ブルース・オズボーン 写真展－「親子の日 2012」に出会った親子－開催
・第 9 回目「写真コンテスト」、第 7 回目「エッセイコンテスト」を開催
・第 6 回となる「親子大賞」を実施
・NHK ワールドで、ブルース・オズボーンの活動が世界に向けて発信される
・東日本被災地応援プロジェクト「TIE ☆ 会いたい」ワークショップを、南三陸、仙台市、大槌町、田老町、相馬市で実施
・滋賀県米原市 JR 米原駅のステーションギャラリーに於いて『けがえのないもの』～東北で出会った親子たち～実施（6 月 11 日～12 月 26 日）書家の紫舟氏とコラボレーションを
・Twitter を使ったイベント「親子つづやき大喜利～DNA Circus～」を実施
・パパごはんと共催イベント「親子の日」にはオムレツを作ろう”を実施
・J-WAVE「LOHAS TALK」に出演。月刊ソトコトの編集長小黒一三氏と対談
・静岡市美術館で親子写真展～未来の私たちへの贈り物～開催。ピーター・バラカンとトークショーも（7 月 22 日～8 月 26 日）
・8 月、新宿芸能花伝舎にて、「新宿でつながろう！東北」に「TIE ☆ 会いたい」参加。写真展示と映像の上映
・「東日本大震災復興支援ブックレット」を制作。・アル・プラザ城陽で親子バナー写真展開催。
・10 周年記念イベントとして「親子」をテーマにした映画と書籍の制作がスタート



- ・10 月、「TIE ☆ 会いたい」報告写真展を、赤坂サカス内の赤坂ギャラリーで実施
- ・12 月、「TIE ☆ 会いたい」報告写真展を、兵庫県淡路市、南あわじ市で開催

- 2013** 11 回目の親子の日「親子の日スーパーフォトセッション」
- ・1 月、末広町 3331 で「TIE ☆ 会いたい」展示会とワークショップを実施
 - ・2 月、新潟で「TIE ☆ 会いたい」展示会とワークショップを実施
 - ・3 月、横浜 (YMCA 主催) で「TIE ☆ 会いたい」展示会とワークショップを実施
市ヶ谷「JICA 地球広場」で「TIE ☆ 会いたい」展示会
 - ・4 月、葉山芸術祭で「TIE ☆ 会いたい」展示会とワークショップを実施
 - ・5 月、クーリーズクリークで、映画「OYAKO」キックオフパーティーを開催
「世田谷ものづくり学校」プロジェクト「ILCA の学校」でワークショップ開催
 - ・6 月、銀座「和光」（セイコーホールディングス株式会社主催）で親子写真の展示会
六本木の「新世界」でライブトークイベント
 - ・7 月、山口県下松市をロケ地のひとつと決定。下松市は「親子の日」制定を宣言
 - ・8 月、DAYS JAPAN 主催のイベント「いのちの地球に生きる」に参加。被災地で出会った親子の写真を展示。韓国で行われた写真館の全国会議で「親子の日」のセミナーを実施。
 - ・9 月、2014 年に向け日本写真館協会とのコラボレーション決定。写真館協会のイベントに参加。沖縄で親子撮影会を実施。
 - ・10 月、ILCA の学校で映画のプロモーションイベントを実施。
 - ・11 月、山口県下松市で展覧会と映画の試写上映会を実施。



金沢 21 世紀美術館での「親子」写真展



愛知県児童総合センターでの「親子」写真展



PIE イベント会場



University of the Pacific 海外初「親子写真



米原駅ステーションギャラリー展覧会



静岡市美術館展覧会



被災地訪問プロジェクト



赤坂サカス「TIE ☆ 会いたい」写真展